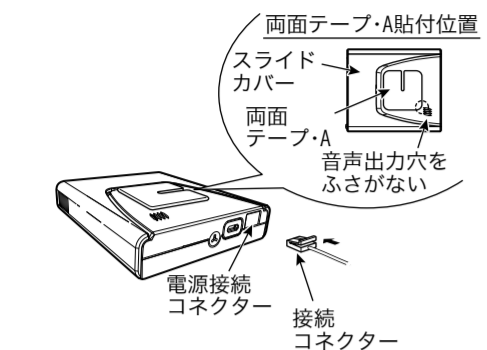


車載器の取付けた

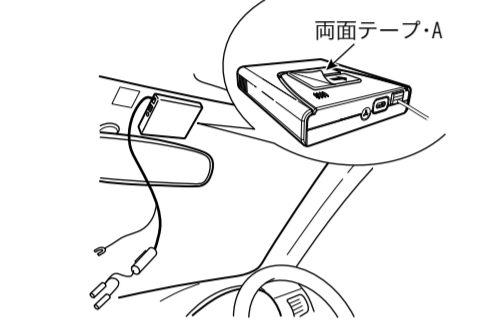
フロントガラス内側に取付ける場合

■ フロントガラスの傾き45°以下の車両

- 1 本体(車載器)にある電源接続コネクタに電源ケーブルの接続コネクタを取付けます。
- 2 スライドカバーにかからないように、本体(車載器)の底面に本品同梱の両面テープ・Aを貼ります。



- 3 本体(車載器)の底面に貼った両面テープ・Aの反対側をはがし、気泡が入らないように、フロントガラス内側の指定位置に取付けます。



お願い

- ・フロントガラス内側に取付ける場合は、必ず同梱の両面テープ・Aを使用してください。
- ・本体(車載器)を取付ける際、取付位置をアルコール等で脱脂して、汚れをよく拭き取ってください。
- ・フロントガラス内面にフィルムTV アンテナ等が設置されている場合、アンテナと干渉しないように取付けてください。直接、フィルムTV アンテナ等の上へ取付けないでください。

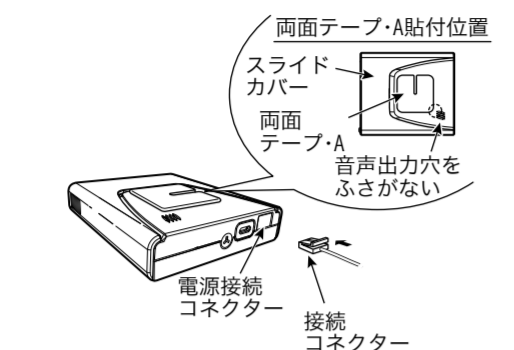
※Aピラーにエアバッグシステムを装備している車両には、配線上フロントガラスへのアンテナ取付けはできません。スタンド(EP-OSD1:別売品)を使用してダッシュボード上に取付けてください。

■ フロントガラスの傾き45°を超える車両

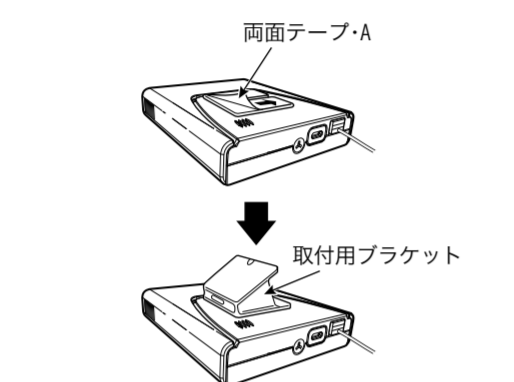
※必ず取付用ブラケット(EP-OSF2)を別途お買い求めください。

- 1 本体(車載器)にある電源接続コネクタに電源ケーブルの接続コネクタを取付けます。

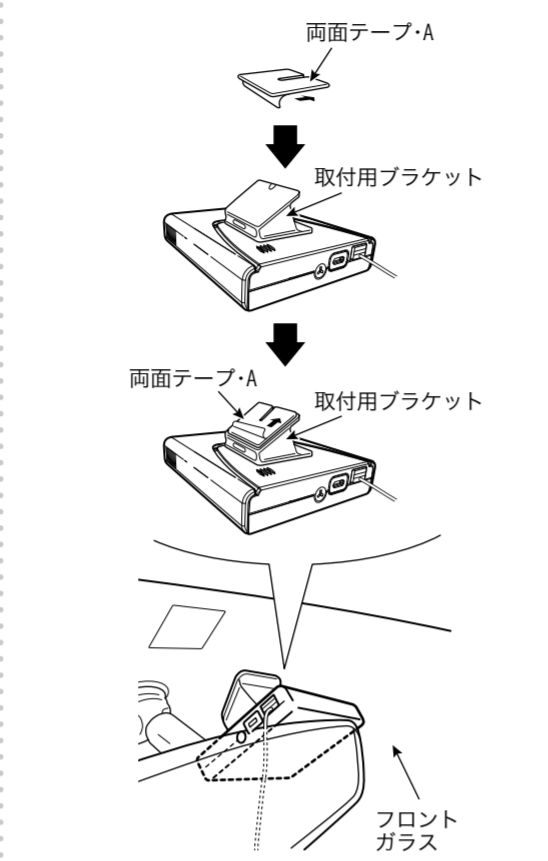
- 2 スライドカバーにかからないように、本体(車載器)の底面に取付用ブラケット同梱の両面テープ・Aを貼ります。



- 3 本体(車載器)の底面に貼った両面テープ・Aの反対側をはがし、取付用ブラケットを取付けます。



- 4 下図のように取付用ブラケットの取付け面の形状に合わせて、両面テープ・Aをもう1枚貼ります。両面テープ・Aの反対側をはがして、気泡が入らないようにフロントガラス内面の指定位置に取付けます。



お願い

- ・取付用ブラケットを使用する場合、必ず、取付用ブラケット(EP-OSF2)に同梱されている両面テープ・Aを使用してください。
- ・本体(車載器)、取付用ブラケットを取付ける際、取付位置をアルコール等で脱脂して、汚れをよく拭き取ってください。
- ・フロントガラス内面にフィルムTV アンテナ等が設置されている場合、アンテナと干渉しないように取付けてください。直接、フィルムTV アンテナ等の上へ取付けしないでください。

お知らせ

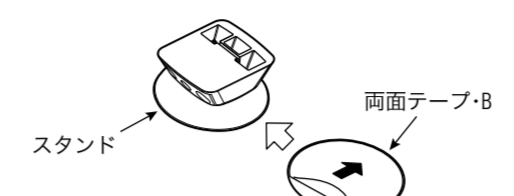
- ・別売品のEP-OSF2には、取付用ブラケット(1個)と両面テープ・A(2枚)が同梱されています。

ダッシュボード上に取付ける場合

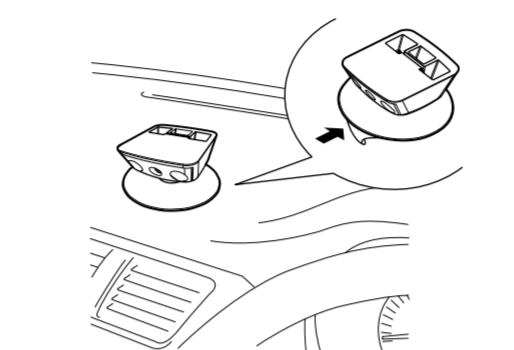
※必ずスタンド(EP-OSD1)を別途お買い求めください。

■ 取付けた

- 1 両面テープ・Bをスタンドの底面(丸形)に貼ります。



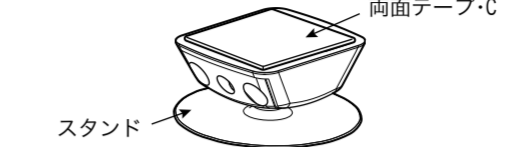
- 2 底面の両面テープ・Bをはがして、スタンドを本体(車載器)取付推奨範囲内の場所へしっかりと貼付けます。



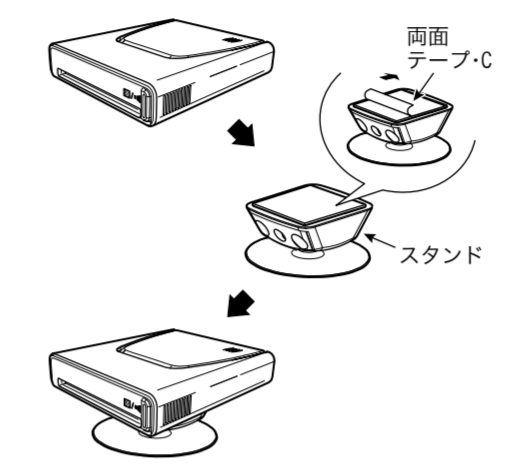
お願い

- ・スタンドを使用する場合、必ずスタンド(EP-OSD1)に同梱されている両面テープ・B、Cを使用してください。
- ・本体(車載器)、スタンドを取付ける際、取付位置をアルコール等で脱脂して、汚れをよく拭き取ってください。
- ・付属の両面テープを貼るときは、取付方向を確認して間違いないように貼ってください。
- ・付属の両面テープを一度使用すると取れにくくなります。
- ・一度使用した両面テープは、粘着力が弱くなっています。再使用しないでください。
- ・本体(車載器)にETCカードを挿入し、仮置き状態でカードが取り出せることを確認しておいてください。

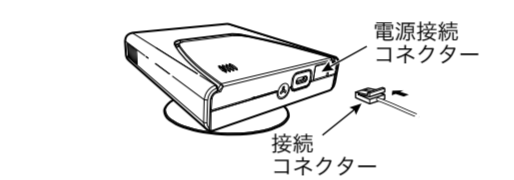
- 3 スタンドの上面に両面テープ・Cを貼ります。



- 4 スタンドの上面に貼った両面テープ・Cをはがして、本体(車載器)をスタンドの上面に取付けます。



- 5 本体(車載器)にある電源接続コネクタに電源ケーブルの接続コネクタを取付けます。

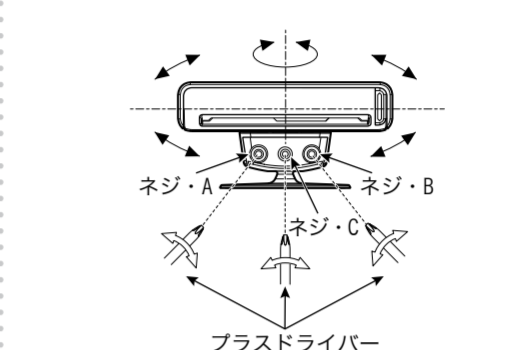


お知らせ

- ・別売品のEP-OSD1には、スタンド(1個)と両面テープ・B(1枚)、両面テープ・C(1枚)が同梱されています。

■ スタンドの調整方法

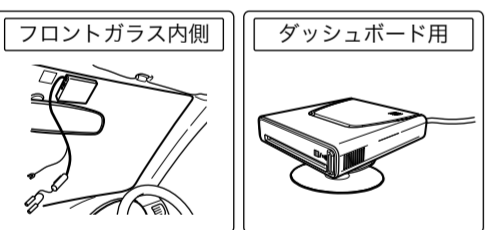
- 1 スタンドのネジ・Aとネジ・Bをプラスドライバーでゆるめて、本体(車載器)操作が容易で「車載器の取付け位置」の範囲内で納まるように調整してください。
- 2 取付け位置が決まったら、ネジ・Aとネジ・Bをプラスドライバーで締めてください。
- 3 ネジ・Cをプラスドライバーで締めてスタンド(本体(車載器)付)を固定します。



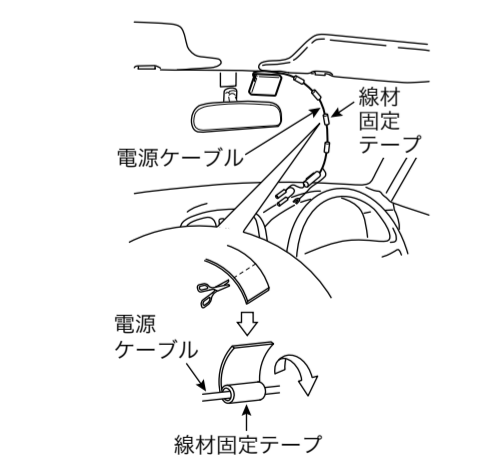
電源接続のしかた

ケーブルの配線

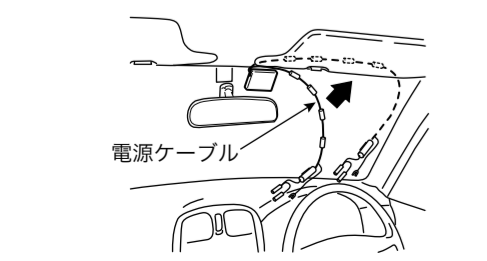
- 1 本体(車載器)をフロントガラス内側に取付けた場合、手順2、3、4、6へ進んでください。本体(車載器)をダッシュボード上に取付けた場合、手順5、6へ進んでください。



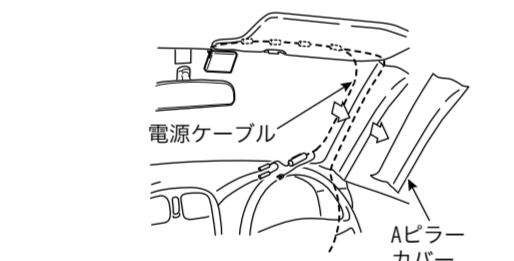
- 2 付属の線材固定テープを適宜に切り、等間隔に電源ケーブルに巻き付けます。



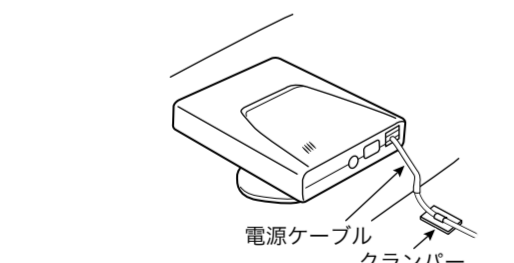
- 3 電源ケーブルをフロントガラスと天井の内張りの隙間に押し込みます。



- 4 Aピラーカバーを外し、電源ケーブルを通します。

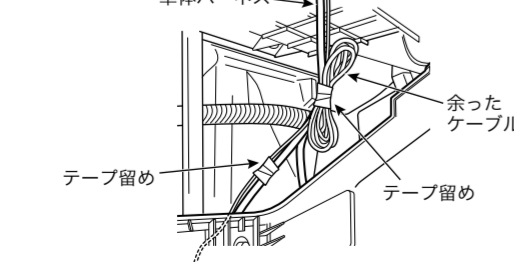


- 5 運転操作に支障のないように、電源ケーブルを付属のクランプでダッシュボード等しっかりと止めて取付けてください。*



* 本体(車載器)をダッシュボード上に取付けた場合のみ

- 6 余ったケーブルは、車体ハーネスに束ねます。

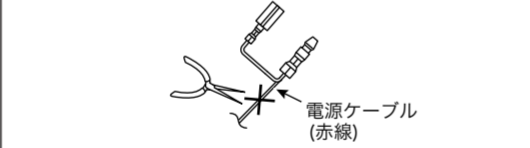


電源接続

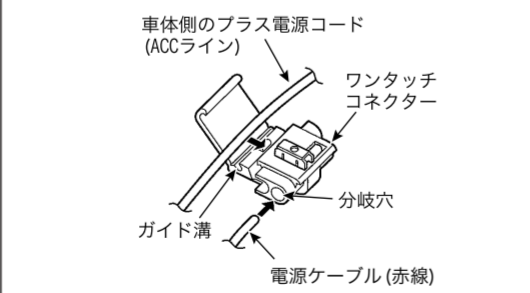
電源接続には2通りの接続方法があります。接続は、どちらか1つを選択して作業してください。

■ ワンタッチコネクタ使用の場合 【適合機種:22~16AMG(約0.3~1.3mm²)】

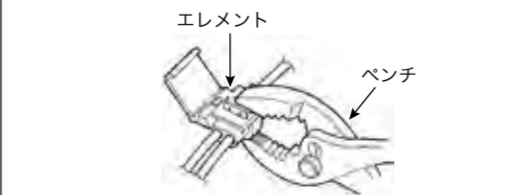
- 1 電源ケーブル(赤線)のギボシ端子を切ります。



- 2 車体側のプラス電源コード(ACCライン)をガイド溝に入れます。電源ケーブル(赤線)をワンタッチコネクタケーブルの分岐穴に通します。



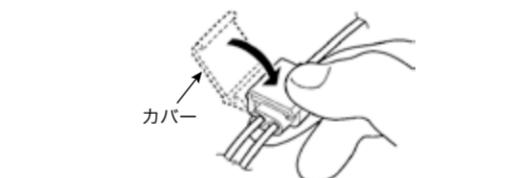
- 3 コード、ケーブルがワンタッチコネクタから抜けないようにベンチなどでエレメントを押し込みます。



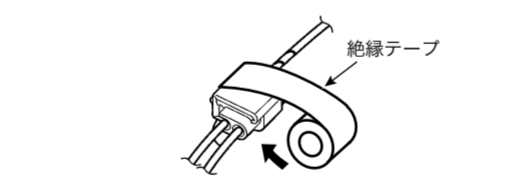
お願い

- ・電源ケーブルを取付けるときは、必ず車のイグニッションキーを「OFF」にし、バッテリーのマイナス端子を外して作業してください。
- ・イグニッションキーのON/OFFに連動して電源がON/OFFされるアクセサリ電源(ACC)に接続してください。
- ・ワンタッチコネクタやギボシを使用する場合は、それぞれの車種に適合したものを使用してください。使用方法を間違えると火災や故障の原因になります。
- ・常時通電されるバッテリー(直結)の電源(常時電源)や照明用ランプの電源(イルミネーション電源)には、絶対に接続しないでください。
- ・電源ケーブル(黒線)は、車体シャーシグラントへ接続してください。

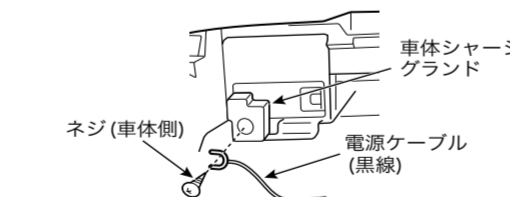
- 4 接続不良がないことを確認して、完全にカバーをかぶせます。



- 5 コード、ケーブルとワンタッチコネクタの周りを絶縁テープで巻きます。

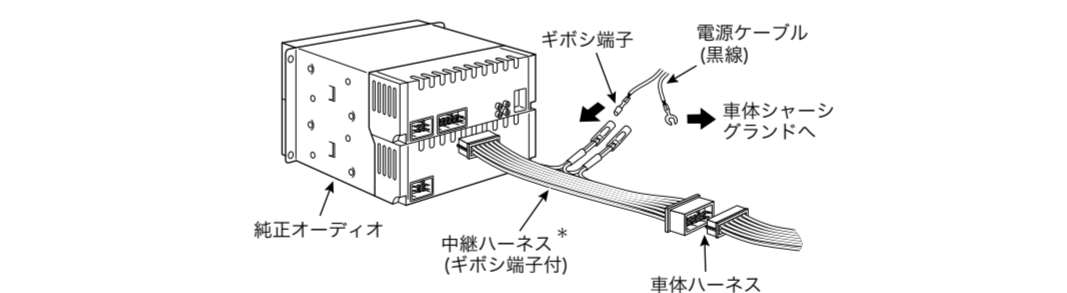


- 6 電源ケーブル(黒線)の端子を車体シャーシグラントにネジ(車体側)で共締めします。



■ 中継ハーネス(ギボシ端子付)を使用する場合

- 1 中継ハーネス(ギボシ端子付)を準備してください。電源ケーブル(赤線)のギボシ端子を車体側のプラス電源コード(ACCライン)とつながる中継ハーネスのギボシ端子に取付けます。電源ケーブル(黒線)の端子を車体シャーシグラントにネジ(車体側)で共締めします。

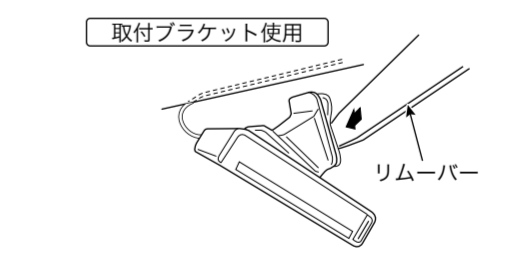
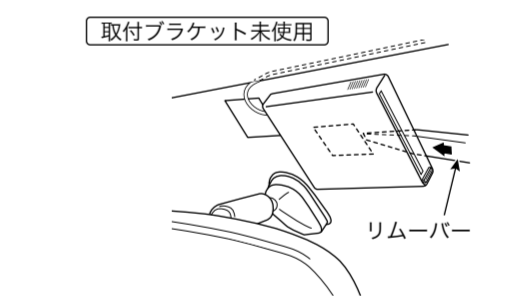


* 市販の中継ハーネスを使用する場合、中継ハーネス付属の取扱説明書をご覧ください。

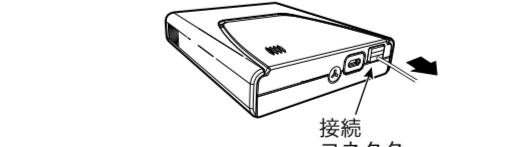
車載器の取外しかた

フロントガラス内側に取付けた場合

- 1 ガラスと両面テープの接着面の間にリムーバーの先端を少しずつ奥へ差し込み、両面テープをダッシュボード面よりはがします。ガラス面に残っている両面テープの接着のりを拭き取ってください。

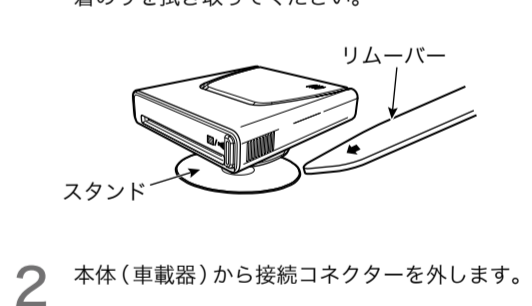


- 2 本体(車載器)から接続コネクタを外します。



ダッシュボード上に取付けた場合

- 1 ダッシュボードと両面テープの接着面の間にリムーバーの先端を少しずつ奥へ差し込み、両面テープをダッシュボード面よりはがします。ダッシュボード面に残っている両面テープの接着のりを拭き取ってください。



お願い

- ・リムーバーは、必ずプラスチック製か樹脂製等で、ガラスやダッシュボードに傷がつかないものを使用してください。
- ・無理に両面テープをはがすと、本体(車載器)を壊す恐れがあります。ゆっくりと両面テープをはがしてください。
- ・一度、接着した両面テープは粘着力が弱くなっています。再使用しないでください。

お知らせ

- ・気温が低いときは、車内ヒーターを入れるか、ドライヤーなどで貼付面をあたためるときれいにはがせます。
- ・万一、両面テープの接着剤が残った場合も、指などでこすってはがすことができます。